



適用機種 スリムK/マルチS/Fitマルチシリーズ

三菱電機パッケージエアコン フリープラン システム別売部品 3分岐用ヘッダー(CMY-Y63-GG2)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。



注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいたぐように依頼してください。



警告

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
●頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に



注意

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱工を行うと配管など表面が結露して、露ダレなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
●接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
●漏電や発熱・火災の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財などを濡らす原因になります。

1 箱の中には下記が入っています。作業を始める前にご確認ください。

①説明書 本紙1枚	②ヘッダー(細) 1ヶ	③ヘッダー(太) 1ヶ	④パイプカバー 2ヶ	⑤バンド 4ヶ	⑥パイプ φ19.05→φ15.88 1ヶ	⑦パイプ φ15.88→φ12.7 2ヶ
⑧パイプ φ9.52→φ6.35 2ヶ	⑨パイプ φ15.88→φ19.05 1ヶ	⑩パイプ φ9.52→φ12.7 1ヶ	⑪カバー 8ヶ	⑫パイプ φ19.05→φ25.4 1ヶ	⑬パイプ φ15.88→φ22.2 1ヶ	

注1) 上記以外に次の物を現地で手配してください。
(1)断熱材シール用テープ (2)冷媒回路用延長パイプ

2 下記のことに注意して作業を行ってください。

1. 室外ユニット据付工事説明書に記載の冷媒配管長制限、室内ユニット取付制限を守ってください。
2. ヘッダー分岐後の再分岐はできません。必ず室内ユニットに接続してください。
3. ヘッダーと配管、または、パイプとの接続は、ろう付で行ってください。ろう付は無酸化ろう付で行ってください。
4. ヘッダーにはストッパーが付いています。接続するパイプが止まるまで奥に押し込んでください。
5. ヘッダーの取付姿勢についての制約はありません。
6. 配管接続作業の際、配管内部にゴミなどの異物が入らないようにしてください。
7. 冷媒配管(現地手配)には全て断熱材を施工してください。また、市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材(厚さ15mm以上)を使用してください。

3 冷媒配管サイズの見直しおよびヘッダーの使い方

1. 接続する配管は現地で手配してください。
2. 各部の配管サイズを「表1」、「表2」、「表3」により決定してください。
3. ヘッダーは2項で選んだ全ての配管サイズに接続できるようにしています。
【図1】、および「表4」～「表7」を参照して実施してください。
配管サイズに合うように、④～⑥を適宜判断して接続してください。
⑦加工しないで使う。⑧一部切断して使う。⑨パイプを接続して使う。
4. パイプカッターなどで配管を切断した場合、バリ取りを行った後ゴミ、異物を取り除き、配管を接続してください。

表1 室外ユニットへの配管サイズ

①R410A冷媒使用時			②R22/R407C冷媒使用時		
室外ユニット能力	液管	ガス管	室外ユニット能力	液管	ガス管
～160形	φ9.52	φ15.88	80形	φ9.52	φ15.88
224形・280形	φ9.52*	φ25.4	112～160形	φ9.52	φ19.05

*最遠長が60mを超える場合はφ12.7

表2 分岐部間配管サイズ

①R410A冷媒使用時			②R22/R407C冷媒使用時		
下流室内ユニットの合計容量	液管	ガス管	下流室内ユニットの合計容量	液管	ガス管
～160形	φ9.52	φ15.88	～90形	φ9.52	φ15.88
			91形～	φ9.52	φ19.05

能力	下流室内ユニットの合計容量	液管	ガス管
224形	～160形	φ9.52*	φ15.88
280形	161形～	φ9.52*	φ25.4

*最遠長が60mを超える場合はφ12.7

表3 室内ユニットへの配管サイズ

①R410A冷媒使用時			②R22/R407C冷媒使用時		
室内ユニットの容量	液管	ガス管	室内ユニットの容量	液管	ガス管
22形～56形	φ6.35	φ12.7	22形～45形	φ6.35	φ12.7
63形～160形	φ9.52	φ15.88	56形～90形	φ9.52	φ15.88
224形	φ9.52	φ19.05	112形～160形	φ9.52	φ19.05
280形	φ9.52	φ22.2			

表7 配管寸法

3分岐(CMY-Y63)	
液管	ガス管
Z	φ9.52 φ19.05
Y	φ12.7 φ22.2
X	10 20
W	10 15
V	φ9.52 φ15.88
U	φ6.35 φ12.7
T	φ9.52 φ15.88

表4

室外ユニット配管径(液/ガス)	φ9.52/φ15.88	φ9.52/φ19.05	φ12.7/φ19.05	φ9.52/φ25.4	φ12.7/φ25.4
液管	Z寸法で使用	Z寸法で使用	Y寸法に切断	Z寸法	Y寸法に切断
ガス管	⑥パイプを接続	Z寸法で使用	Z寸法に切断	⑩パイプを接続	⑩パイプを接続

注) Y寸法に切断する場合、X寸法を確保してパイプカッターなどで切断してください。

分岐部・分岐部

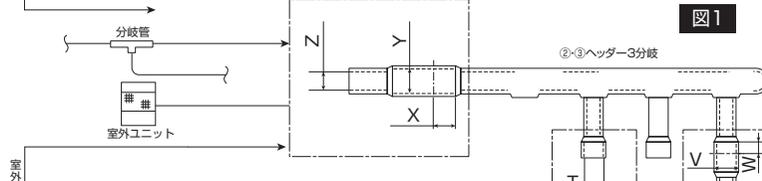


表5

室外ユニット配管径(液/ガス)	φ9.52/φ15.88	φ9.52/φ19.05	φ12.7/φ19.05	φ9.52/φ22.2	φ9.52/φ25.4	φ12.7/φ25.4
液管	Z寸法で使用	Z寸法で使用	Y寸法に切断	Z寸法	Z寸法	Y寸法に切断
ガス管	⑧パイプを接続	Z寸法で使用	Z寸法に切断	⑩パイプを接続	⑩パイプを接続	⑩パイプを接続

注) Y寸法に切断する場合、X寸法を確保してパイプカッターなどで切断してください。

室外ユニット・第一分岐部

4 パイプカバー(断熱材)取付作業

図2-1

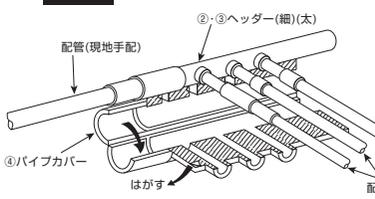


図2-2

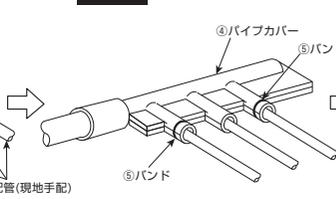
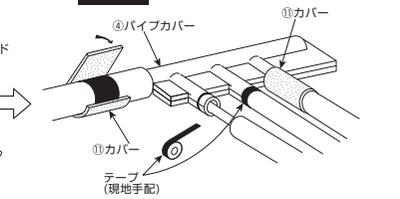


図2-3



- 1) ②・③ヘッダー(細)(太)を、④パイプカバー(2ヶ)にそれぞれを納めた後、④パイプカバーの斜線の位置に貼り付けてある紙をはがし、②・③ヘッダー(細)(太)を、④パイプカバーではさみ込むようにしてください。
- 2) ④パイプカバーの室内側分岐部の両端を上図のように、⑤バンドにて縛ってください。
- 3) 断熱材の合わせ部分には隙間がないようにして、テープ(現地手配)にてしっかりシールしてください。また、この部分に①カバーを巻き付けてください。